

農林水産委員会

委員一覧 (21名)

委員長	上月 良祐 (自民)	野村 哲郎 (自民)	森 ゆうこ (立憲)
理事	堂故 茂 (自民)	林 芳正 (自民)	河野 義博 (公明)
理事	藤木 眞也 (自民)	舞立 昇治 (自民)	熊野 正士 (公明)
理事	山田 修路 (自民)	宮崎 雅夫 (自民)	高橋 光男 (公明)
理事	田名部 匡代 (立憲)	山田 俊男 (自民)	石井 苗子 (維新)
理事	紙 智子 (共産)	石垣 のりこ (立憲)	舟山 康江 (民主)
	高橋 克法 (自民)	郡司 彰 (立憲)	須藤 元気 (無)
			(会期終了日 現在)

(1) 審議概観

第203回国会において、本委員会に付託された法律案は内閣提出2件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願8種類29件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

種苗法の一部を改正する法律案は、植物の新品種の育成者権の適切な保護及び活用を図るため、輸出先国等の制限、農業者の自家増殖に係る特例の廃止等により、育成者権者の意思に反して登録品種が海外に流出することを防止するための措置のほか、育成者権を活用しやすくするための措置等を講じようとするものである。なお、衆議院において、輸出先国の指定等に関する規定の施行期日を令和2年12月1日から令和3年4月1日に改めること等を内容とする修正が行われた。委員会では、参考人から意見を聴取するとともに、優良品種の海外流出防止の実効性、登録品種の自家増殖に係る農業者の特例の廃止による影響、品種開発における公的機関の役割等について質疑が行われ、討論の後、多数をもって可決され

た。なお、附帯決議が付された。

特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律案は、違法に採捕された水産動植物の流通を防止するため、特定の水産動植物等について、取扱事業者間における取引記録の作成及び保存の義務付け、適法に採捕されたものである旨の証明書が添付されていない輸出入の規制等の措置を講じようとするものである。委員会では、流通段階で対策を講じる意義、規制対象魚種とする基準と手続、流通情報の電子化及び関係者の負担軽減等について質疑が行われ、全会一致をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

〔国政調査〕

11月17日、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた農家に対する支援措置の継続及び予算確保の必要性、持続化給付金及び高収益作物次期作支援交付金の運用における混乱に対する行政の責任、新型コロナウイルス感染症の影響により和牛肉の需要が減少している一方で、米国産牛肉の輸入が増加している状況に対す

る認識及び対策の必要性、有機JASの登録認証機関によって認証費用に大きな差が生じている理由、政府の家畜排せつ物対策において微生物を活用した設備を補助対象とする必要性、新規就農者確保及び経営継承につなげる具体的な施策、農林水産分野におけるデジタル化及びスマート農業の推進の取組方針並びにスマート農業に適した農地の基盤整備の必要性、農業者戸別所得補償制度の導入により米の超過作付面積が減少したことの確認、米の需給調整のため減反及び農業者戸別所得補償制度を復活させる必要性等について質疑を行った。

11月24日、食料・農業・農村基本計画に対する農業者の関心が低い理由、食料・農業・農村基本計画において中小・家族経営に言及するようになった理由、高収益作物次期作支援交付金の運用見直しを行った経緯、日本酒の国内消費拡大及び

輸出促進並びに山田錦等の酒造好適米の安定生産に向けた支援、ソーラーシェアリングの普及に向けた課題及び推進策、微生物を活用した家畜排せつ物堆肥化設備の整備に利用可能な補助事業及び予算確保の必要性、食料安全保障の確保という長期的視点に立った米政策の検証の必要性等について質疑を行った。

12月1日、行政ニーズに対応するための農林水産省の人員確保及び国立研究開発法人の予算確保の必要性、香川県等で相次ぎ発生している高病原性鳥インフルエンザの感染ルートと防疫措置の状況、食品ロス削減の取組に対する人工知能の活用状況、水田と畑地に価格差がある中で農業農村整備事業による水田の畑地化が進む可能性、漁業収入安定対策の機能強化及び法制化を速やかに行う必要性等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○令和2年11月12日(木) (第1回)

- ・理事の辞任を許可し、補欠選任を行った。
- ・農林水産に関する調査を行うことを決定した。

○令和2年11月17日(火) (第2回)

- ・政府参考人の出席を求めることを決定した。
- ・新型コロナウイルス感染症対策としての農業等への支援に関する件、日米貿易協定に関する件、有機農業に関する件、農業農村整備事業に関する件、米政策に関する件等について野上農林水産大臣、宮内農林水産副大臣、熊野農林水産大臣政務官、こやり厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

堂故茂君(自民)、藤木眞也君(自民)、森ゆうこ君(立憲)、石垣のりこ君(立憲)、河野義博君(公明)、石井苗子君(維新)、

舟山康江君(民主)、紙智子君(共産)、須藤元気君(無)

○令和2年11月24日(火) (第3回)

- ・政府参考人の出席を求めることを決定した。
- ・食料・農業・農村基本計画に関する件、新型コロナウイルス感染症対策としての農業等への支援に関する件、再生可能エネルギーの普及促進に関する件、畜産環境対策に関する件、米政策に関する件等について野上農林水産大臣、宮内農林水産副大臣、熊野農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

高橋克法君(自民)、郡司彰君(立憲)、高橋光男君(公明)、石井苗子君(維新)、舟山康江君(民主)、紙智子君(共産)、須藤元気君(無)

- ・種苗法の一部を改正する法律案(第201回国

会閣法第37号) (衆議院送付) について野上農林水産大臣から趣旨説明及び衆議院における修正部分の説明を聴いた。

また、同法律案について参考人の出席を求めたことを決定した。

○令和2年11月26日(木) (第4回)

- ・政府参考人の出席を求めたことを決定した。
- ・種苗法の一部を改正する法律案(第201回国会閣法第37号) (衆議院送付) について野上農林水産大臣、宮内農林水産副大臣、熊野農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、次の参考人から意見を聴き、両参考人に対し質疑を行った。

- ・質疑

[質疑者]

山田修路君(自民)、田名部匡代君(立憲)、河野義博君(公明)、石井苗子君(維新)、舟山康江君(民主)、紙智子君(共産)、須藤元気君(無)

- ・参考人に対する質疑

[参考人]

有限会社矢祭園芸代表取締役
全国新品種育成者の会前会長 金澤美浩君
公益社団法人全国愛農会会長
家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン代表 村上真平君

[質疑者]

山田修路君(自民)、森ゆうこ君(立憲)、高橋光男君(公明)、石井苗子君(維新)、舟山康江君(民主)、紙智子君(共産)、須藤元気君(無)

○令和2年12月1日(火) (第5回)

- ・政府参考人の出席を求めたことを決定した。
- ・種苗法の一部を改正する法律案(第201回国会閣法第37号) (衆議院送付) について野上農林水産大臣、宮内農林水産副大臣、熊野農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

[質疑者]

宮崎雅夫君(自民)、石垣のりこ君(立憲)、森ゆうこ君(立憲)、河野義博君(公明)、石井苗子君(維新)、舟山康江君(民主)、

紙智子君(共産)、須藤元気君(無)

(第201回国会閣法第37号)

賛成会派 自民、公明、維新、民主

反対会派 立憲、共産、無(須藤元気君)

なお、附帯決議を行った。

- ・農林水産省における定員管理に関する件、高病原性鳥インフルエンザ対策に関する件、食品ロス削減に向けた取組に関する件、農業農村整備事業に関する件、漁業経営安定対策に関する件等について野上農林水産大臣、熊野農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

郡司彰君(立憲)、石井苗子君(維新)、舟山康江君(民主)、紙智子君(共産)、須藤元気君(無)

- ・特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律案(閣法第4号) (衆議院送付) について野上農林水産大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和2年12月3日(木) (第6回)

- ・政府参考人の出席を求めたことを決定した。
- ・特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律案(閣法第4号) (衆議院送付) について野上農林水産大臣、宮内農林水産副大臣、宇都外務副大臣、熊野農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

[質疑者]

舞立昇治君(自民)、田名部匡代君(立憲)、高橋光男君(公明)、石井苗子君(維新)、舟山康江君(民主)、紙智子君(共産)、須藤元気君(無)

(閣法第4号)

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、共産、無(須藤元気君)

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

○令和2年12月4日(金) (第7回)

- ・請願第46号外28件を審査した。
- ・農林水産に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。

- ・閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。